

共生社会を担う人材の育成と"社会が作る障害"理解の啓発活動

①「サービス介助士」の育成・活躍の場の創出

「サービス介助士」は高齢な人や障害のある人が安心して外出し、社会参加できるように、介助や接遇を学ぶ資格です。現在資格取得者は25万人、導入企業は1000社になり、様々な場面でのバリアを取り除くサポートやおもてなしを実践しており、障害者スポーツ大会などのボランティアでも活躍しています。

②障害の社会モデル体感プログラム「バリアフルレストラン」

「バリアフルレストラン」は、"障害は社会が作り出している"という、「障害の社会モデル」の考え方を体感的に学ぶことができるプログラムです。車いすユーザーが多数派になった逆転世界を演出することで、普段気づきにくい"当たり前"に目を向けて、多様な人を困らせている社会の障害に気づいて行動するきっかけを提供しています。



企業・団体情報

企業名：公益財団法人

日本ケアフィット共育機構

住所：東京都千代田区神田三崎町2-2-6

事業概要：DE&I施策の推進支援、共生施策の人材育成

URL：<https://www.carefit.org/>

